

川内川水系かわまちづくり 轟地区における取り組みについて

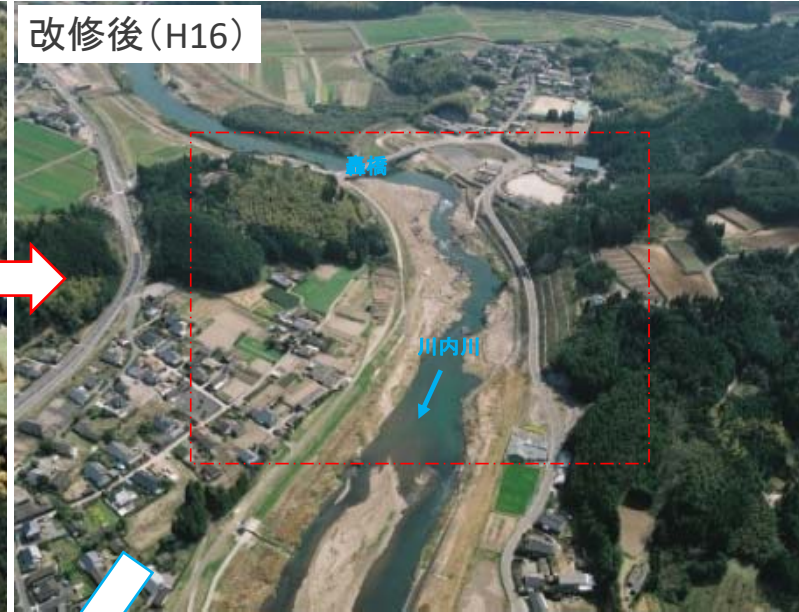
Keywords : 景観・環境の保全, 安全性・利便性の向上

Before

改修前 (H10)



改修後 (H16)



After

かわまち整備後 (R1)



★2023年鹿児島国体の
カヌー(スラローム)メイン会場に決定

利用状況



2019年プレ国体開催

轟地区はかつて狭窄部であり、洪水時にボトルネックとなり、上流地区の度なる浸水被害の一因となっていた。平成10年代に床上浸水対策特別緊急事業により流下能力を確保し、今回（平成29年度～）のかわまちづくり事業により、景観性を高め、河川利用の向上を図り、治水・河川利活用の両立と更なる向上を行ったものである。